

2020年度 (2021年3月期) 第3四半期 決算説明会

2021年 1月 28日
セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

年号：断りが無い限り、会計年度を示す

- ご説明のポイント
- 第3四半期実績
- 2020年度通期業績予想
- 株主還元
- 持続的成長に向けた取り組み

第3四半期 実績

- 売上収益 : 2,788億円 (対前年同期 10億円減収)
 - 地域・商品ごとに濃淡はあるものの、COVID-19影響で落ち込んだ需要の回復が進む
 - 需要に対して、供給不足が継続
- 事業利益 : 311億円 (対前年同期 135億円増益)
 - 戦略商品の拡大、在宅印刷需要継続によるインク販売増加、販売価格の維持
 - 費用抑制を徹底
- 四半期利益 : 160億円 (対前年同期 37億円増益)
 - 事業利益の増益により各段階利益で増益
 - その他営業費用にウェアラブル機器事業に減損損失(36億円)を計上

通期業績 予想

- 売上収益 : 9,800億円
(対前期 636億円減収 対前回予想200億円上方修正)
 - 第3四半期までの販売回復を反映
- 事業利益 : 500億円
(対前期 91億円増益 対前回予想150億円上方修正)

- ご説明のポイント
- **第3四半期実績**
- 2020年度通期業績予想
- 株主還元
- 持続的成長に向けた取り組み

2020年度 第3四半期決算 | ハイライト

	2019年度		2020年度		対前年同期		
	(億円)	Q3実績	%	Q3実績	%	増減額	増減率
売上収益		2,798		2,788		-10	-0.4%
事業利益		176	6.3%	311	11.2%	+135	+76.3%
営業利益		176	6.3%	246	8.8%	+69	+39.3%
税引前利益		173	6.2%	228	8.2%	+54	+31.6%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益		122	4.4%	160	5.8%	+37	+30.9%
EPS ^{*1} (円)		35.47		46.42			
為替レート (円、指数)	USD	¥108.72		¥104.48			
	EUR	¥120.35		¥124.51			
	その他通貨 ^{*2}	100		94			

*1 EPS: 基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前年同期を100とした指数

	前年同期に対する 為替影響額 (億円)			合計
	USD	EUR	その他 通貨合計	
売上収益	-32	+15	-34	-51
事業利益	+8	+10	-22	-3

■ 売上収益 2,788億円（10億円の減収）

- 地域・商品ごとに濃淡はあるものの、COVID-19影響で落ち込んだ需要の回復が着実に進む
- 需要に対して、供給不足が継続
 - インドネシア工場での操業停止（9月）影響に加え、物流の混乱（海上輸送コンテナの不足・港湾混雑）が発生
 - ✓ インクカートリッジモデル本体、大容量インクタンクモデル本体、商業・産業IJP、プロジェクターなどに影響
- COVID-19影響
 - 第3四半期には、約150億円のマイナス影響（需要影響、供給影響）

■ 事業利益 311億円（135億円の増益）

- 大容量インクタンクモデル・インク販売増加、販売価格の上昇などに加え、費用抑制を徹底

■ 四半期利益 160億円（37億円の増益）

- 事業利益の増益により各段階利益で増益
 - その他営業費用にウェアラブル機器事業の減損損失（36億円）を計上
 - ✓ 第3四半期までのCOVID-19影響によるウオッチ市場の動向を踏まえ、今後の回復をより慎重に見直す

■ 前回予想比

- 売上収益はIJPインクの在宅印刷需要継続や本体の販売価格が安定的に推移したほか、ロボティクスソリューションズやマイクロデバイス他での需要増加もあり予想を上回る
- 事業利益は、売上収益影響に加え、費用抑制影響もあり、予想を大きく上回った

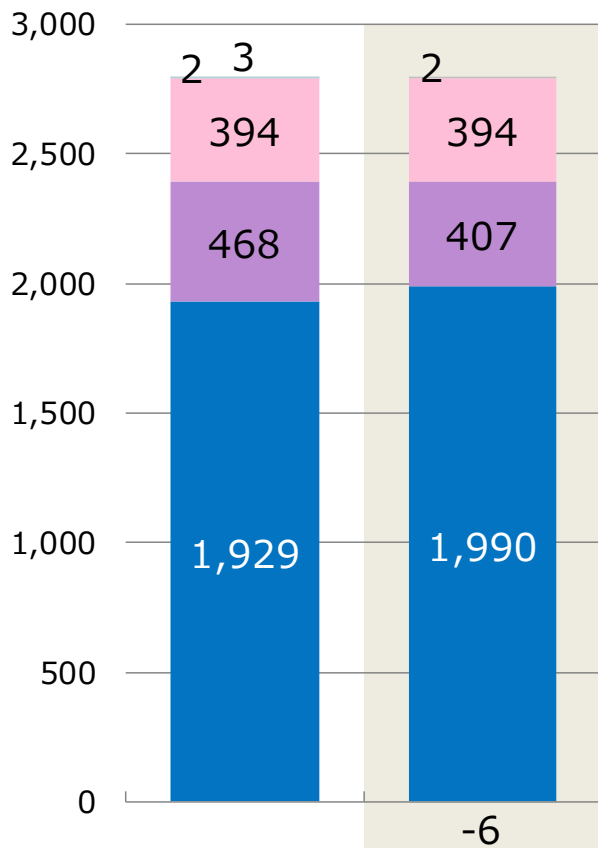
2020年度 第3四半期実績 | 事業セグメント別

四半期売上収益

(億円)

2,798

2,788



FY2019
Q3実績

FY2020
Q3実績

連結合計

対前年同期 -10

その他

ウェアラブル・
産業プロダクト

対前年同期 +0

ビジュアル
コミュニケーション

対前年同期 -61

プリンティング
ソリューションズ

対前年同期 +61

全社費用・調整額

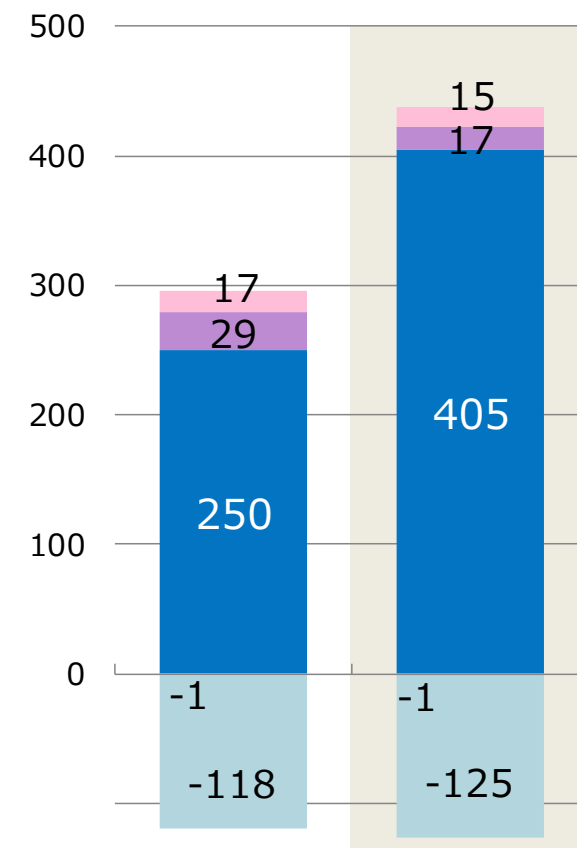
対前年同期 -10

四半期事業利益

(億円)

176

311



FY2019
Q3実績

FY2020
Q3実績

連結合計

対前年同期 +135

ウェアラブル・
産業プロダクト

対前年同期 -1

ビジュアル
コミュニケーション

対前年同期 -12

プリンティング
ソリューションズ

対前年同期 +154

その他

全社費用・調整額

対前年同期 -6

(億円)

プリンティングソリューションズ	2019年度 Q3実績	2020年度 Q3実績
売上収益	1,929	1,990
プリンター	1,340	1,445
構成比 オフィス・ホームIJP	85%	88%
SIDM	6%	5%
その他	9%	7%
プロフェッショナルプリンティング	518	504
構成比 商業・産業IJP	66%	71%
小型プリンター他	34%	29%
その他	70	41
事業間売上収益	-0	-0
セグメント利益	250	405
セグメント利益率	13.0%	20.4%

対 前年同期	為替 影響額
+61	-41
+104	
-14	
-28	
-0	
+154	-3

プリンター事業

- ◆ オフィス・ホームIJP
 - ・大容量インクタンクモデルは、需要回復し、販売拡大
 - ・SOHO・ホーム向けI/Cモデル本体は、販売台数は減少したが、モデルミックス・販売価格上昇により増収
 - ・インク販売は、北米・西欧などで在宅印刷需要が継続し増収
 - ・オフィス共有IJPは前年同期並み

◆ SIDM

- ・中国中心に販売減少

プロフェッショナルプリンティング事業

- ◆ 商業・産業IJP
 - ・完成品ビジネスは、前年同期並み。サインージ・テキスタイル・ラベルで増収、フォト向けで減収
 - ・プリントヘッド外販ビジネスは、中国向け新規採用が進み増収

◆ 小型プリンター

- ・各地で販売停滞

その他


- ・OS切り替えに伴うPC増加があった
前年同期からは販売減少

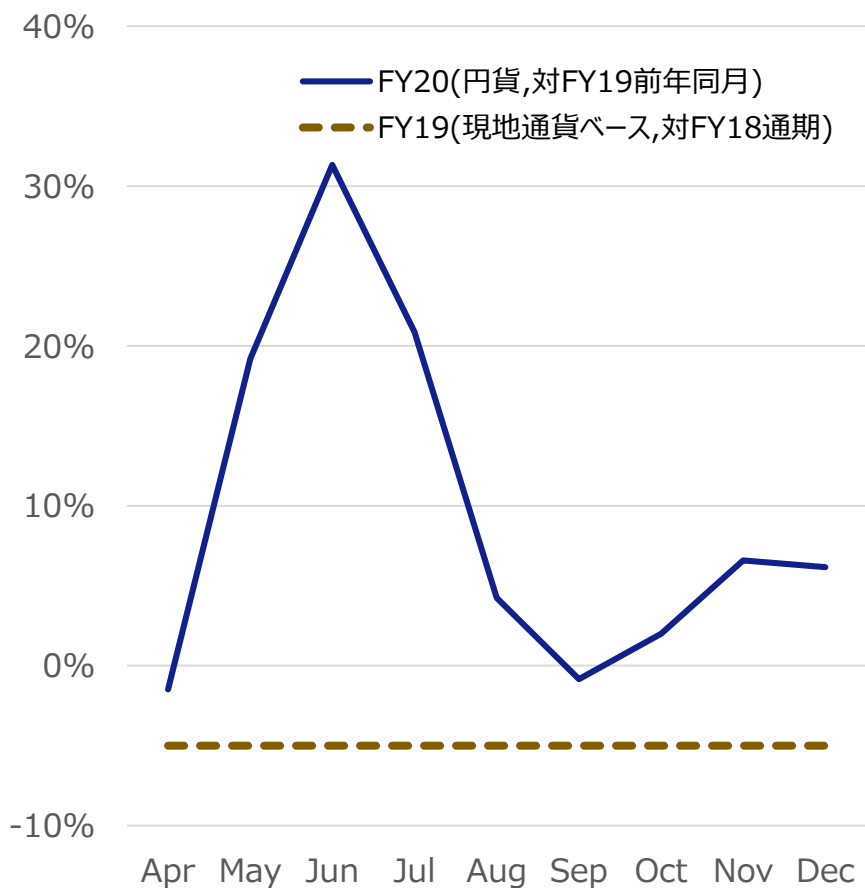
◆ オフィス・ホームIJP販売動向 (社内管理値に基づく指標)

		FY19/Q3 実績	FY20/Q3 実績
本体	売上収益 YoY伸長率	円貨	-1%
		現地通貨	+3%
	販売数量 YoY伸長率	+2%	+2%
インク	売上収益 YoY伸長率	円貨	-12%
		現地通貨	-9%
	売上収益 オフィス・ホームIJP内 比率*2	9%	9%

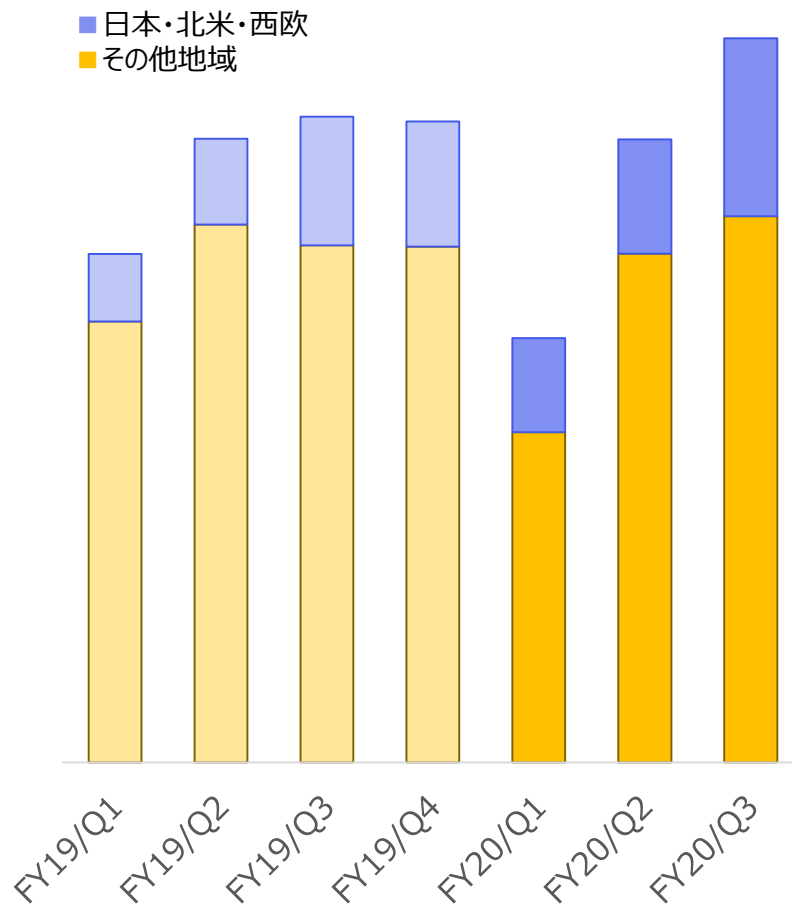
*1 オフィス共有IJP：高プリントボリュームオフィス向けプリンターI/Cモデル、RIPS、LIJの本体・インク、スマートチャージなどの課金や有償サービスを含む

*2 FY20の商品区分変更に伴い、FY19を遡及修正

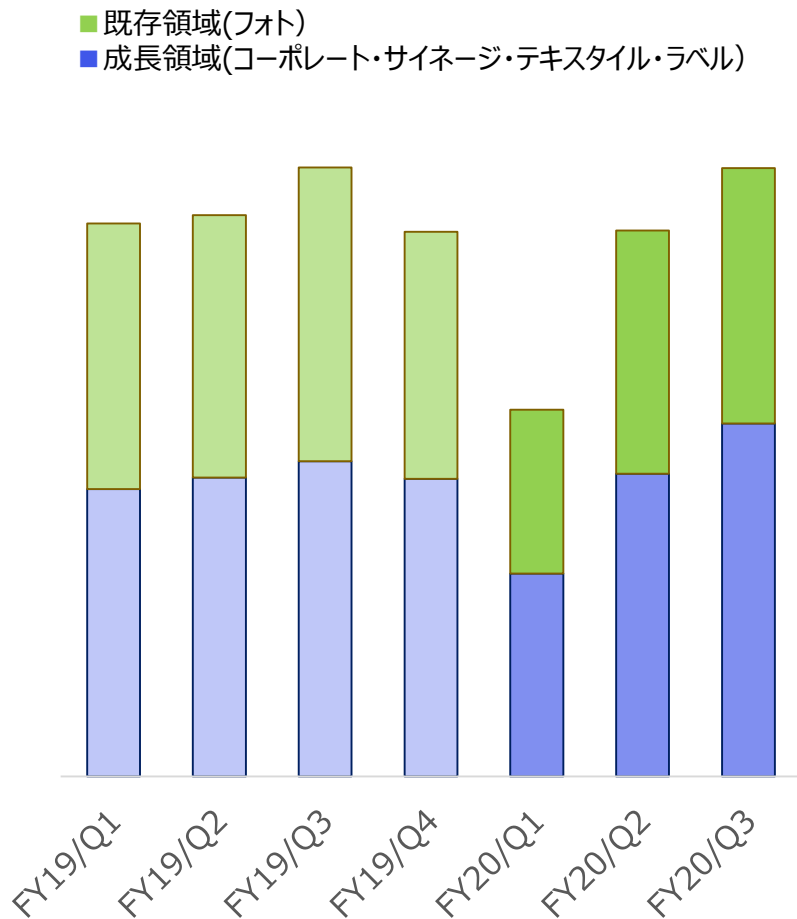
オフィス・ホームIJPインク売上収益推移 (増減率) 



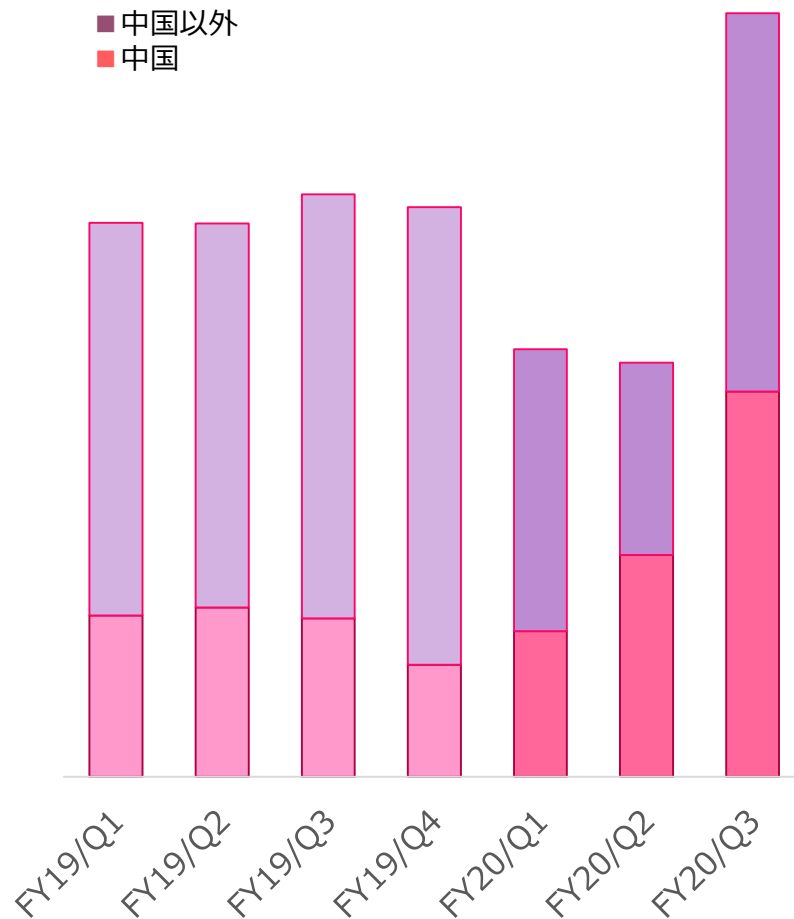
大容量インクタンクモデル販売台数推移 



完成品ビジネス売上収益推移



プリントヘッド外販ビジネス売上収益推移



(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2019年度 Q3実績	2020年度 Q3実績
売上収益	468	407
セグメント利益	29	17
セグメント利益率	6.3%	4.3%

◆ プロジェクターの販売動向 (社内管理値に基づく指標)			FY19/Q3 実績	FY20/Q3 実績
本体	売上収益	円貨	-7%	-13%
	YoY伸長率	現地通貨	-3%	-12%
	販売数量	YoY伸長率	-4%	-20%

対 前年同期	為替 影響額
-61	-3
-12	+2

ビジュアルコミュニケーション

- ◆ プロジェクター
 - ・ COVID-19影響により、オフィス向けプロジェクターを中心に市況停滞

(億円)

ウェアラブル・産業プロダクツ	2019年度 Q3実績	2020年度 Q3実績
売上収益	394	394
ウェアラブル機器	120	79
ロボティクスソリューションズ	52	68
マイクロデバイス他	235	253
事業間売上収益	-13	-6
セグメント利益	17	15
セグメント利益率	4.4%	4.1%

対 前年同期	為替 影響額
+0	-6
-40	
+16	
+18	
+6	
-1	-3

ウェアラブル機器

- ◆ ウォッチ市況停滞により販売減少

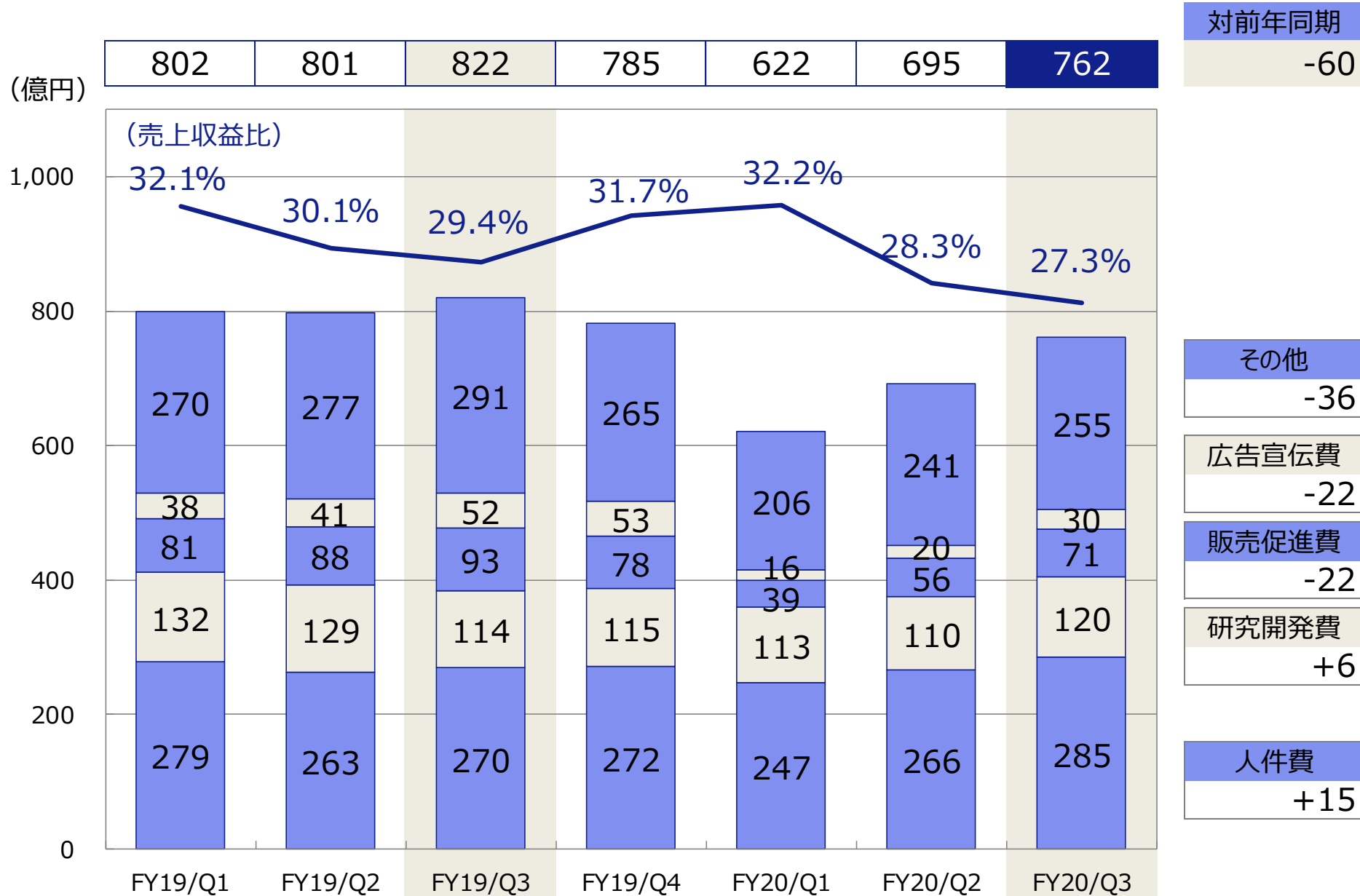
ロボティクスソリューションズ

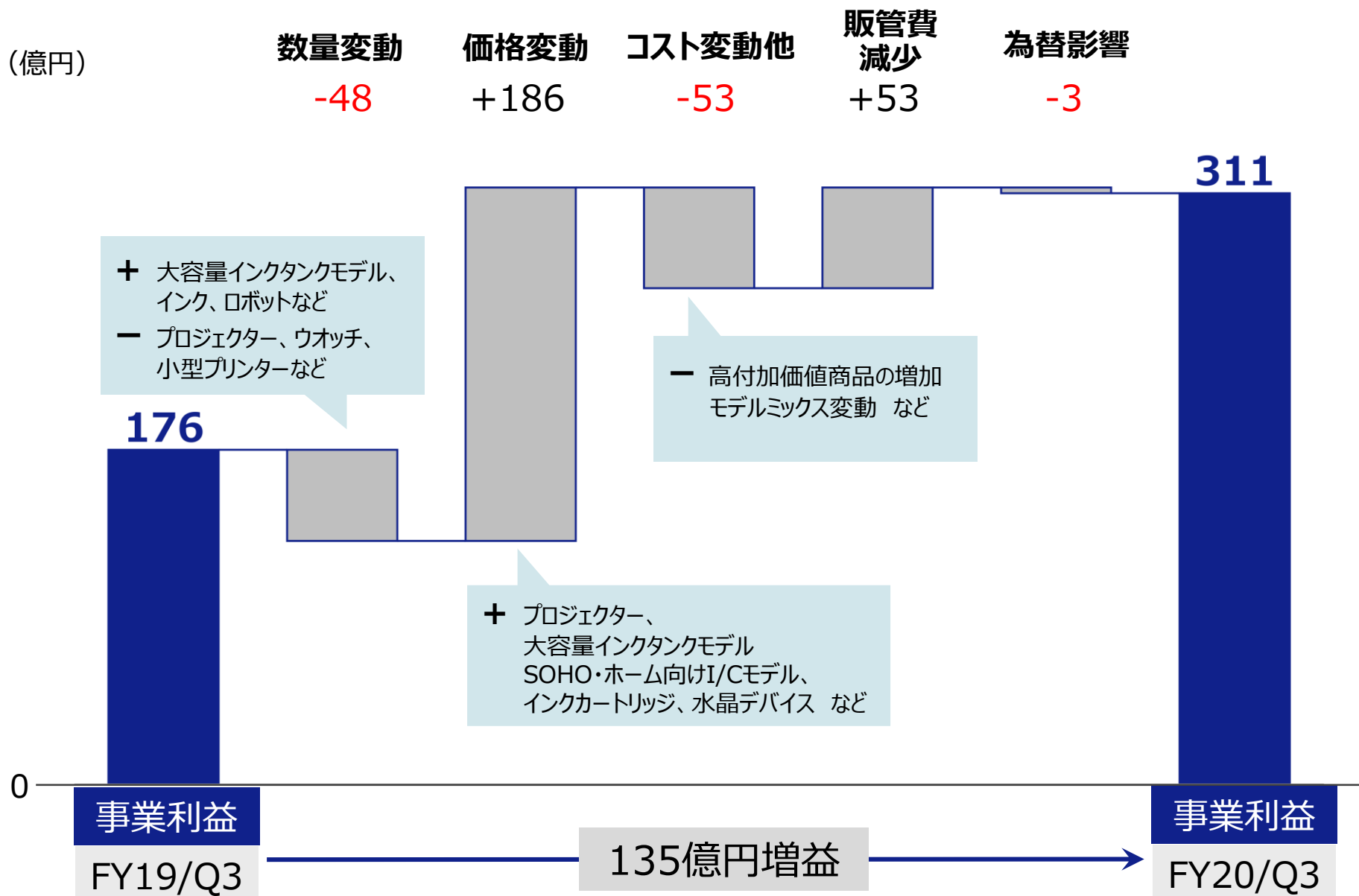
- ◆ 中国・米州などで販売増加

マイクロデバイス他

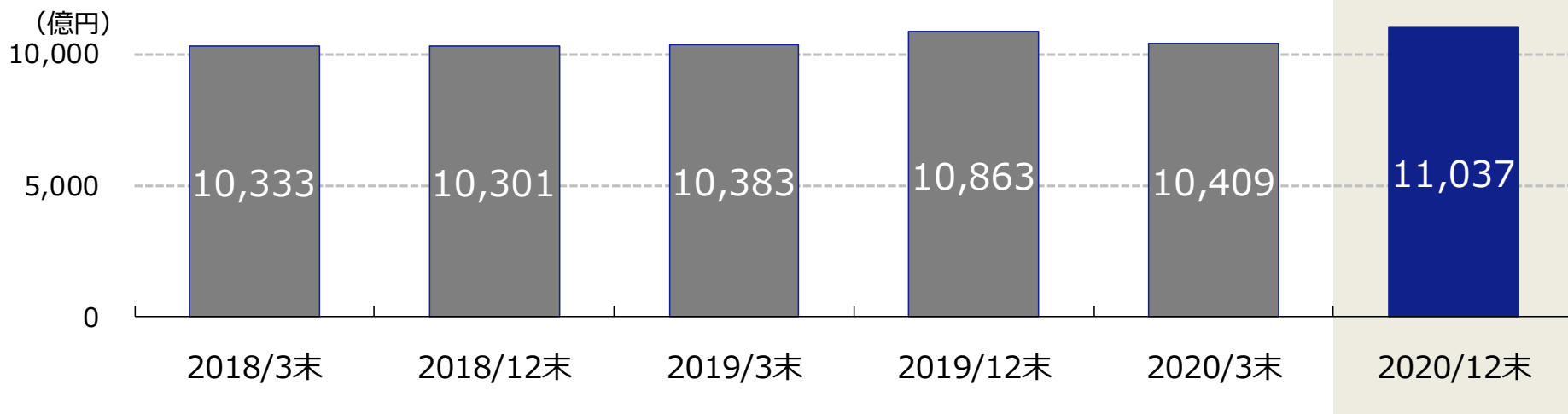
- ◆ 水晶デバイス
 - ・ WiFi・PC・ヘルスケア関連などで堅調な需要
- ◆ 半導体
 - ・ ファンドリ需要堅調

販売費および一般管理費 主要科目別推移





資産合計

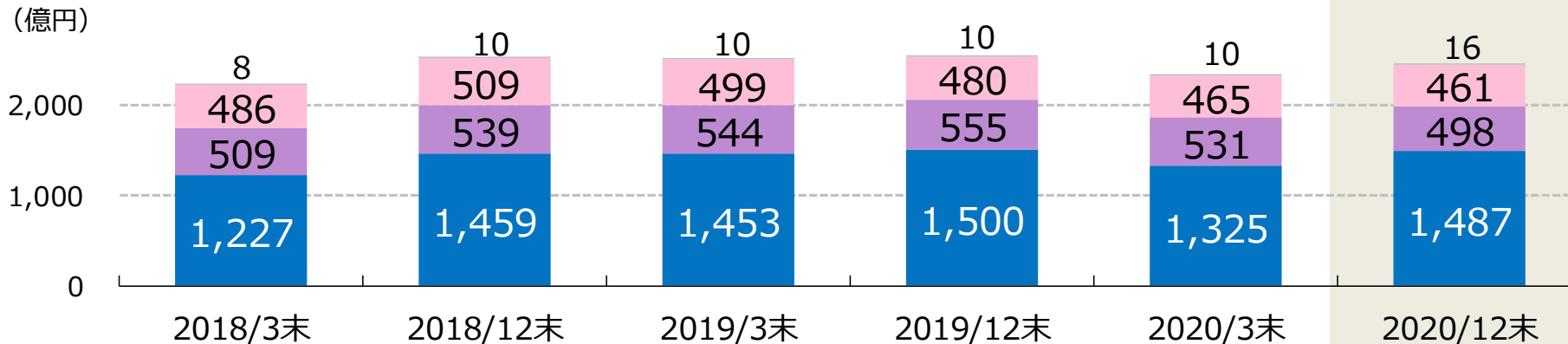


棚卸資産・回転日数

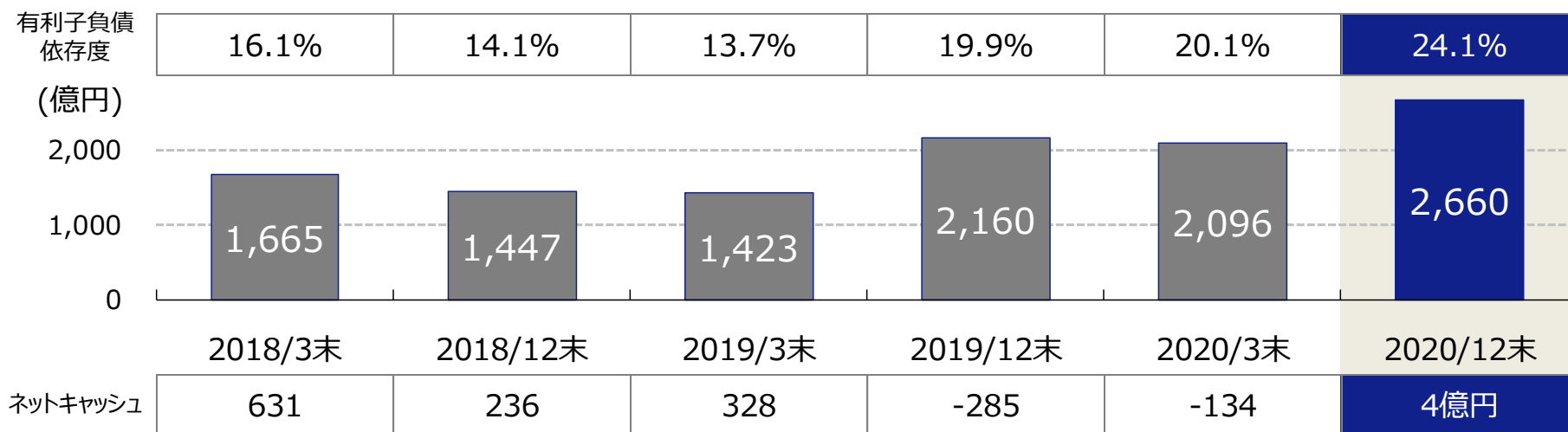
- プリンティングソリューションズ
- ビジュアルコミュニケーション
- ウェアラブル・産業プロダクト
- その他・全社費用

棚卸資産	2,232	2,518	2,507	2,547	2,334	2,463億円
回転日数	74	84	84	88	82	94日

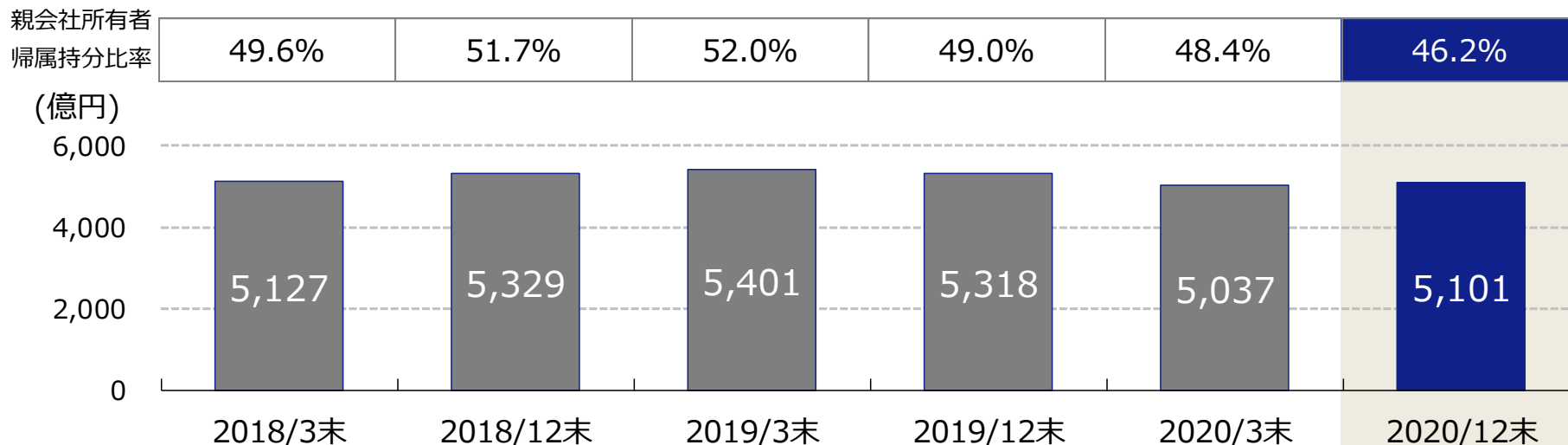
*回転日数 = 第3四半期連結会計期間末(期末) 棚卸資産残高 / 第3四半期連結会計期間末直前9ヶ月間(期末直前12ヶ月間) の1日当たり売上収益



有利子負債・有利子負債依存度、ネットキャッシュ



親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者帰属持分比率



- ご説明のポイント
- 第3四半期実績
- **2020年度通期業績予想**
- 株主還元
- 持続的成長に向けた取り組み

2020年度 通期業績予想 | ハイライト

	2019年度		2020年度				増減額/増減比		
	(億円)	実績	%	10/29予想	%	今回予想	%	対前期	対10/29予想
売上収益		10,436		9,600		9,800		-636 -6.1%	+200 +2.1%
事業利益		408	3.9%	350	3.6%	500	5.1%	+91 +22.4%	+150 +42.9%
営業利益		394	3.8%	280	2.9%	380	3.9%	-14 -3.7%	+100 +35.7%
税引前利益		397	3.8%	240	2.5%	340	3.5%	-57 -14.4%	+100 +41.7%
親会社の所有者に帰属する 当期利益		77	0.7%	80	0.8%	180	1.8%	+102 +132.8%	+100 +125.0%
EPS* ¹ (円)		22.26		23.12		52.03			
為替レート (円、指数)	USD	¥108.74		¥106.00		¥105.00			
	EUR	¥120.85		¥122.00		¥123.00			
	その他通貨* ²	100		92		93			

第4四半期の 為替前提(円)	USD	102.00	為替感応度(億円)* ³	USD	EUR	その他通貨 合計	年間為替 影響額見込み
	EUR	125.00					
			売上収益	△27	△13	△27	△230
			事業利益	+7	△8	△12	△40

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前期を100とした指数

*3 USD/EURは1円の円高による年間影響額（億円）、その他通貨は1%の円高による年間影響額（億円）

- 地域・商品による濃淡はあるものの、需要回復は継続
- 海上輸送のコンテナ不足による物流遅延リスクを加味
- 活動再開に合わせた費用投入を進めつつも、費用抑制は継続

プリンティング ソリューションズ

- 在宅印刷需要は継続
- 増産により、大容量インクタンクモデルの販売台数を上方修正
- 商業・産業IJPは、需要回復が進む

ビジュアル コミュニケーション

- 需要回復は進むものの、中・高光束プロジェクターの回復は遅れる
- 費用コントロールを継続し、効率的に収益を上げる事業体質へ

ウェアラブル・ 産業プロダクツ

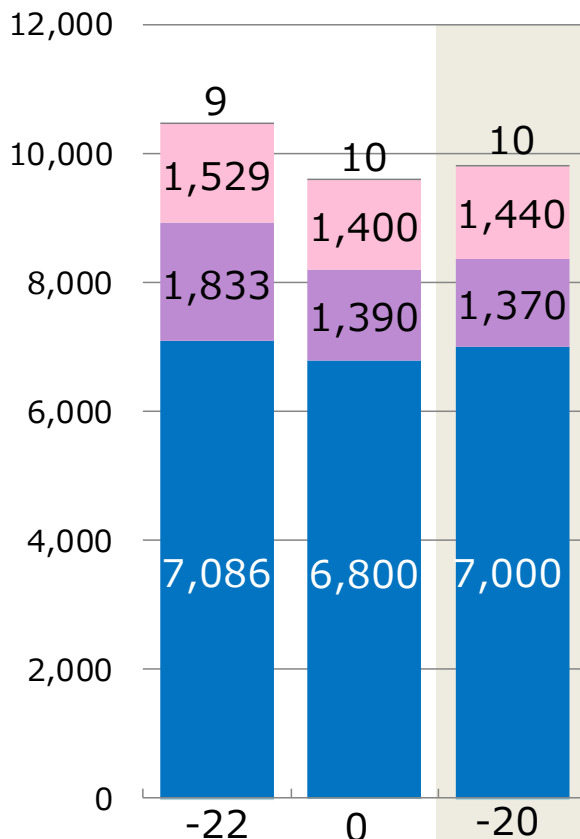
- ウォッチ市場は厳しい環境が継続
- ロボット、マイクロデバイスは堅調

2020年度 通期業績予想 | 事業セグメント別

通期売上収益

(億円)

10,436	9,600	9,800
--------	-------	--------------



FY2019	FY2020	FY2020
実績	10/29予想	今回予想

連結合計

対前期	-636
対10/29予想	+200

その他

ウェアラブル・
産業プロダクト

対前期	-89
対10/29予想	+40

ビジュアル
コミュニケーション

対前期	-463
対10/29予想	-20

プリンティング
ソリューションズ

対前期	-86
対10/29予想	+200

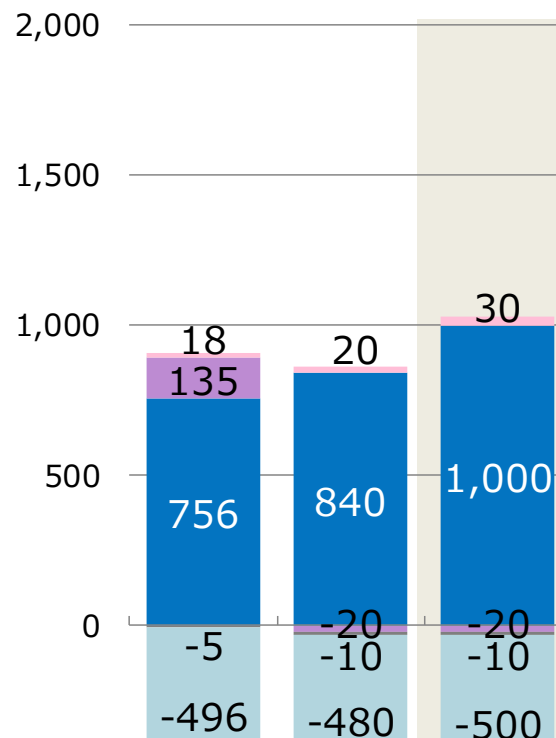
全社費用・調整額

対前期	+2
対10/29予想	-20

通期事業利益

(億円)

408	350	500
-----	-----	------------



FY2019	FY2020	FY2020
実績	10/29予想	今回予想

連結合計

対前期	+91
対10/29予想	+150

ウェアラブル・
産業プロダクト

対前期	+11
対10/29予想	+10

ビジュアル
コミュニケーション

対前期	-155
対10/29予想	-

プリンティング
ソリューションズ

対前期	+243
対10/29予想	+160

その他

全社費用・調整額

対前期	-3
対10/29予想	-20

(億円)

プリンティングソリューションズ	2019年度 実績	2020年度 10/29予想	2020年度 今回予想	対前期	対10/29 予想
売上収益	7,086	6,800	7,000	-86	+200
プリンター	4,825	4,850	5,030	+204	+180
構成比 オフィス・ホームIJP	84%	87%	87%		
SIDM	7%	5%	5%		
その他	9%	8%	8%		
プロフェッショナルプリンティング	1,979	1,780	1,790	-189	+10
構成比 商業・産業IJP	64%	69%	69%		
小型プリンター他	36%	31%	31%		
その他	282	170	180	-102	+10
事業間売上収益	-1	0	0	+1	-
セグメント利益	756	840	1,000	+243	+160
セグメント利益率	10.7%	12.4%	14.3%		

◆ オフィス・ホームIJP販売動向 (社内管理値に基づく指標)

		FY19 実績	FY20 10/29予想	FY20 今回予想	
本体	YoY伸長率	+1%	-4%	-3%	
	約、万台	1,570	1,500	1,520	
	販売数量				
	内 大容量インクタンクモデル	1,000	1,000	1,030	
	内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル	530	470	460	
	内 オフィス共有IJP	40	30	30	
インク	売上収益	YoY伸長率			
		円貨	-8%	+2%	+6%
		現地通貨	-5%	-	
オフィス共有IJP	売上収益	オフィス・ホームIJP内比率*2	10%	10%	10%

プリンター事業

◆ オフィス・ホームIJP

- ・大容量インクタンクモデルは、販売台数増で増収
- ・SOHO・ホーム向けインカートリッジモデル本体の販売台数は減少するが前年度並みの売上収益
- ・インクは増収継続
- ・オフィス共有IJPは、本体は厳しい市場環境の中、着実に販売拡大

◆ SIDM

- ・中国中心に販売減少

プロフェッショナルプリンティング

◆ 商業・産業IJP

- ・完成品ビジネスは、COVID-19影響による市場停滞の中、第2四半期以降着実に回復
- ・プリントヘッド外販ビジネスは、上期は軟調に推移も下期には新規顧客の増加に加え、既存顧客向けの販売が回復

◆ 小型プリンター

- ・先進国中心に需要減少

その他

- ◆ PC販売特需が収束

*1 オフィス共有IJP：高プリントボリュームオフィス向けプリンターI/Cモデル、RIPS、LIJの本体・インク、スマートチャージなどの課金や有償サービスを含む

*2 FY20の商品区分変更に伴い、FY19を遡及修正

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2019年度 実績	2020年度 10/29予想	2020年度 今回予想	対前期	対10/29 予想
売上収益	1,833	1,390	1,370	-463	-20
セグメント利益	135	-20	-20	-155	-
セグメント利益率	7.4%	-1.4%	-1.5%		

ビジュアルコミュニケーション

- ◆ プロジェクター
 - COVID-19影響に加え、FPD影響により市場縮小 (YoY▲35%程度)
 - 費用構造の見直し、費用削減の徹底を継続

◆ プロジェクターの販売動向 (社内管理値に基づく指標)

		FY19 実績	FY20 10/29予想	FY20 今回予想
本体	販売数量	-9%	-30%	-31%
	YoY伸長率			
	約、万台	240	160	160

(億円)

ウェアラブル・産業プロダクツ	2019年度 実績	2020年度 10/29予想	2020年度 今回予想	対前期	対10/29 予想
売上収益	1,529	1,400	1,440	-89	+40
ウェアラブル機器	440	290	280	-160	-10
ロボティクスソリューションズ	212	240	270	+57	+30
マイクロデバイス他	929	890	910	-19	+20
事業間売上収益	-53	-20	-20	+33	-
セグメント利益	18	20	30	+11	+10
セグメント利益率	1.2%	1.4%	2.1%		

◆ ウェアラブル機器

- ウォッチで厳しい事業環境が継続

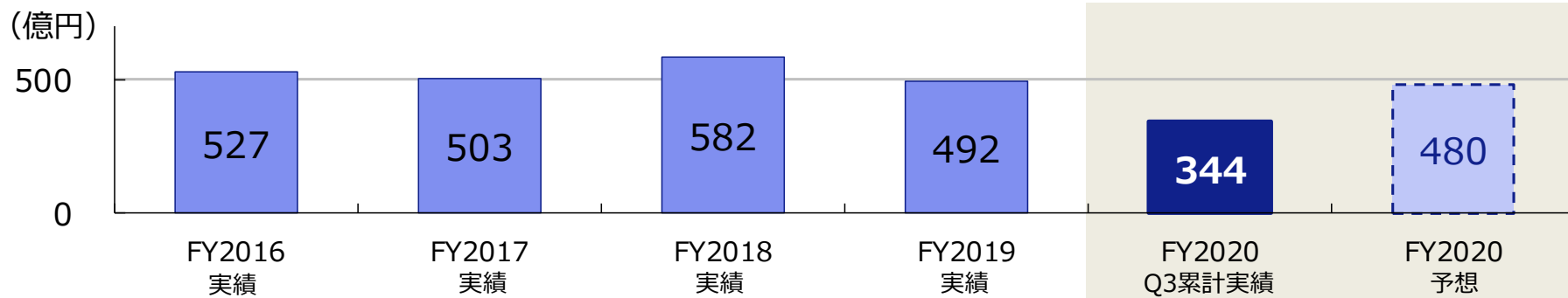
◆ ロボティクスソリューションズ

- 堅調な需要が続く

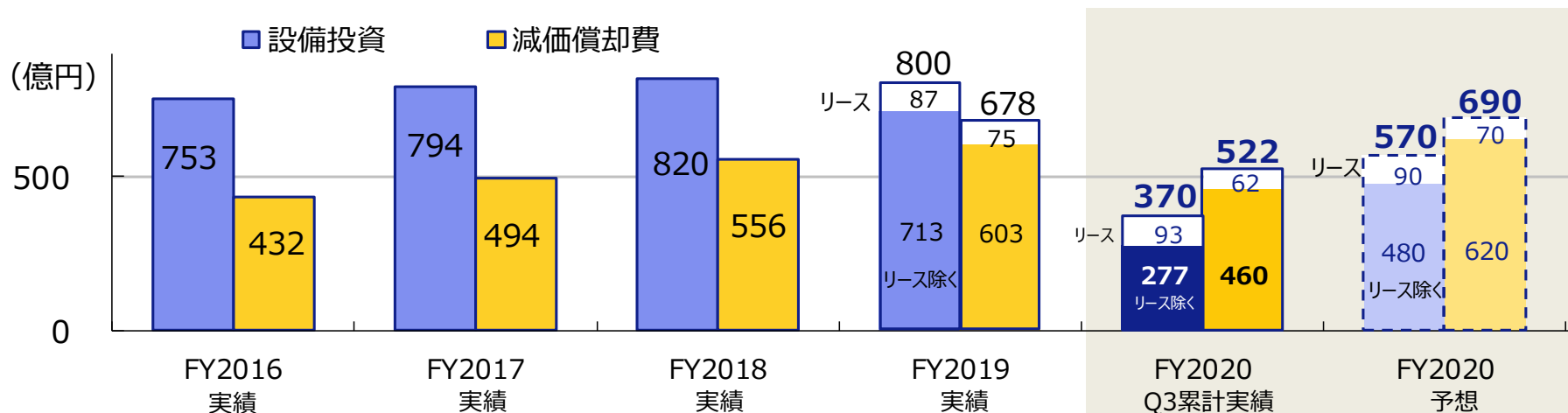
◆ マイクロデバイス他

- 堅調な需要が続く

研究開発費



設備投資・減価償却費

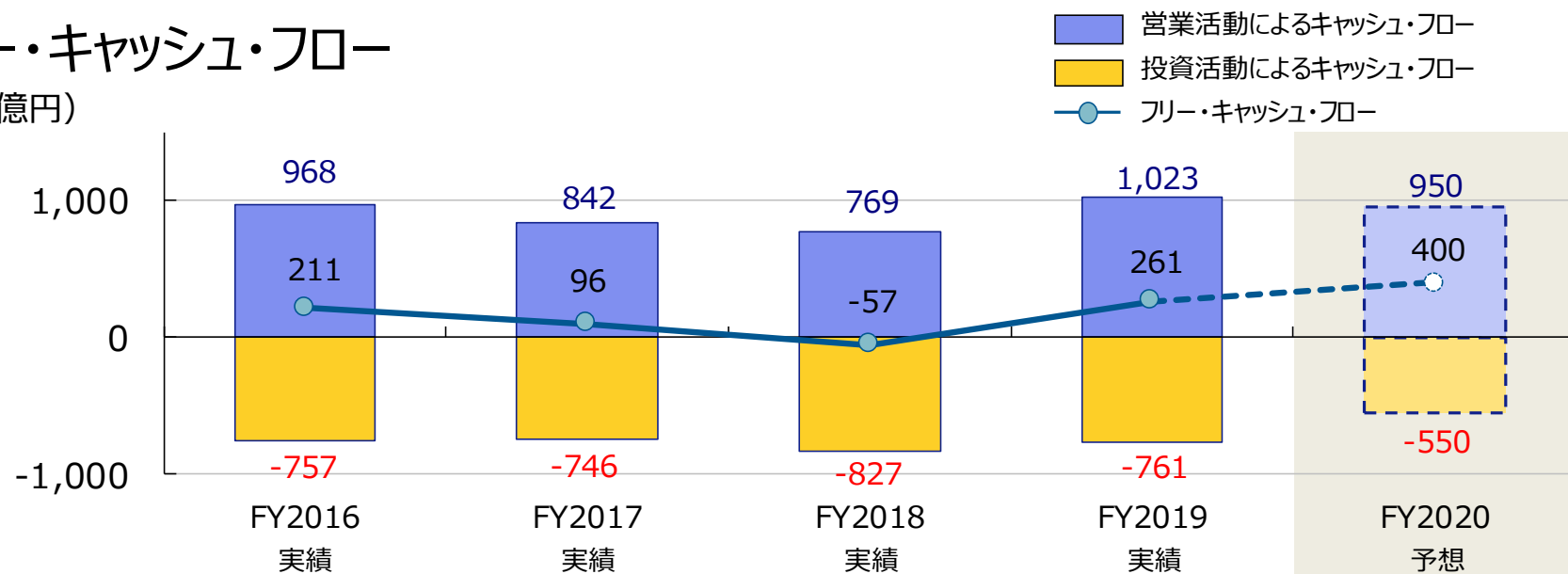


	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
プリンティングソリューションズ	435	377	202	285	280	380
ビジュアルコミュニケーション	141	117	62	96	100	130
ウェアラブル・産業プロダクト	147	103	61	77	120	110
その他・全社費用	75	79	43	62	70	70

FY2019実績からリースを含む

フリー・キャッシュ・フロー

(億円)



主な経営指標

(%)

	FY2016 実績	FY2017 実績	FY2018 実績	FY2019 実績	FY2020 予想
ROS *1	6.4	6.8	6.5	3.9	5.1
ROA *2	6.9	7.4	6.8	3.9	4.7
ROE *3	10.1	8.3	10.2	1.5	3.6

*1 ROS: 売上収益事業利益率 = 事業利益 / 売上収益

*2 ROA: 資産合計事業利益率 = 事業利益 / 期首・期末資産合計平均

*3 ROE: 親会社所有者帰属持分当期利益率 = 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均

- ご説明のポイント
- 第3四半期実績
- 2020年度通期業績予想
- 株主還元
- 持続的成長に向けた取り組み

■ 配当の基本方針

- 強固な財務構造の構築と、積極的な利益還元と並行して取り組む
- 中期的には連結配当性向*40%程度を目標

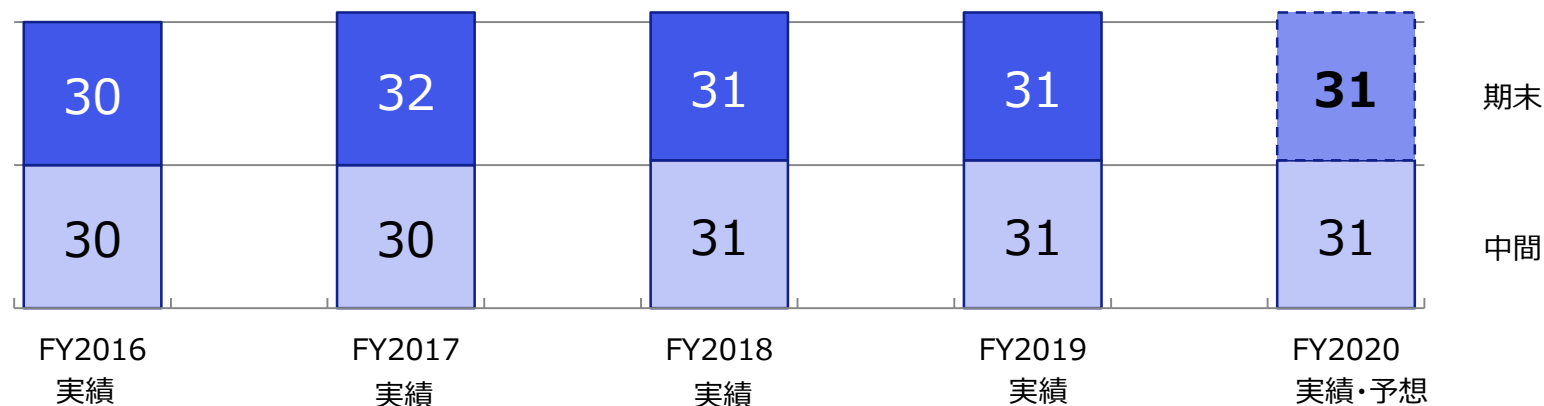
*本業による利益を示す事業利益から法定実効税率相当額を控除した利益をベースに算出

■ 2020年度配当予想

- 2019年度と同額の1株当たり62円

■ 配当実績・予想

1株当たり配当金額の推移（円）



- ご説明のポイント
- 第3四半期実績
- 2020年度通期業績予想
- 株主還元
- 持続的成長に向けた取り組み

■ 長期ビジョン「Epson 25」を見直すとともに、 新しい中期経営計画を3月中旬に発表

- エプソンの事業活動を通じて、社会課題の解決に貢献する
- New Normalに向けた変化を加速させる商品・サービスを提供
- 利益率をより重視した経営へ



大容量インクタンクモデル



オフィス共有IJ



業務効率化ソリューション
Epson Cloud Solution PORT



スカロロボット



プロジェクター



マイクロデバイス



インクジェットデジタル捺染機



UVインク搭載フラットベッドプリンター



プリントヘッド



ウォッチ

■ CDPの企業調査において、「気候変動」「水セキュリティ」で、最高評価の「Aリスト」企業に選出

- 2分野でAリストに選ばれた日本企業は17社のみ
- 環境負荷低減への取り組みが評価された



■ 複数拠点で、RBA監査のプラチナ認証*を取得

- 2019年に、レギュラー会員としてRBAに加盟
- RBAの行動規範に則り、CSR活動を推進してきた成果



Responsible Business Alliance

Advancing Sustainability Globally

拠点	主な生産品目	認定日
インドネシア	大容量インクタンクモデル、SOHO・ホーム向けインクジェットプリンター、オフィス共有インクジェットプリンター、SIDM、大判プリンター、スキャナー	2020/10/31
タイ	水晶デバイス	2020/12/5

*監査において、満点（200点）を取得した企業に与えられる

EPSON
EXCEED YOUR VISION

補足資料

2020年度 第3四半期累計実績 | ハイライト

	2019年度		2020年度		前年同期比		
	(億円)	Q3累計実績	%	Q3累計実績	%	増減額	増減率
売上収益		7,959		7,179		-780	-9.8%
事業利益		368	4.6%	458	6.4%	+90	+24.5%
営業利益		370	4.6%	339	4.7%	-31	-8.4%
税引前利益		364	4.6%	298	4.2%	-66	-18.2%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益		245	3.1%	202	2.8%	-42	-17.3%
EPS ^{*1} (円)		70.51		58.66			
為替レート (円、指数)	USD	¥108.65		¥106.06			
	EUR	¥121.08		¥122.33			
	その他通貨 ^{*2}	100		92			

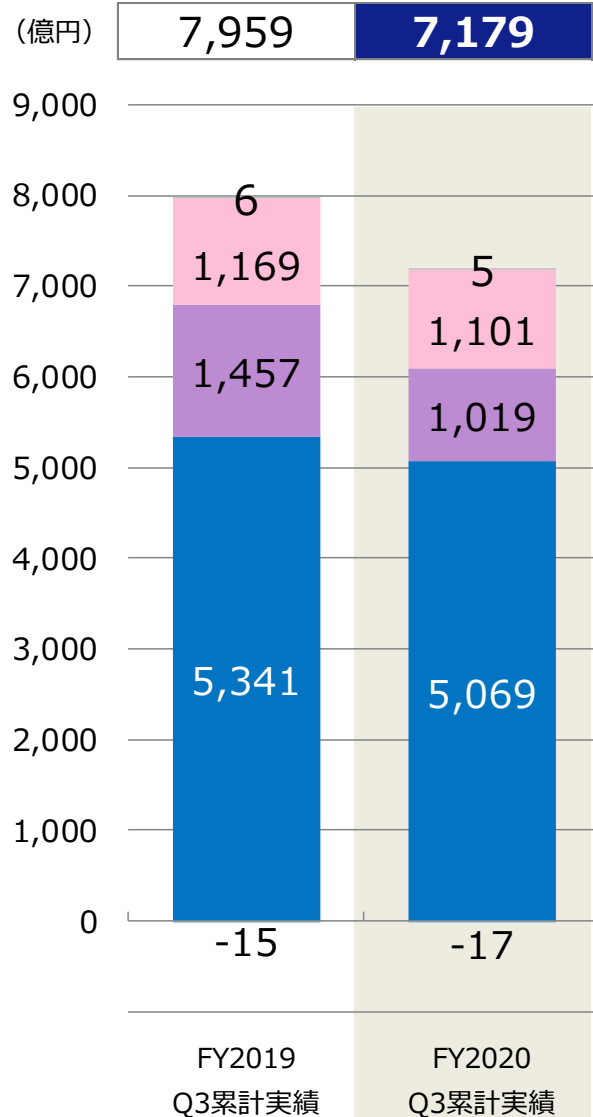
*1 EPS: 基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前年同期を100とした指数

前年同期に対する 為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他 通貨合計	合計
売上収益	-55	+16	-111	-150
事業利益	+11	+11	-65	-43

2020年度 第3四半期累計 | 事業セグメント別

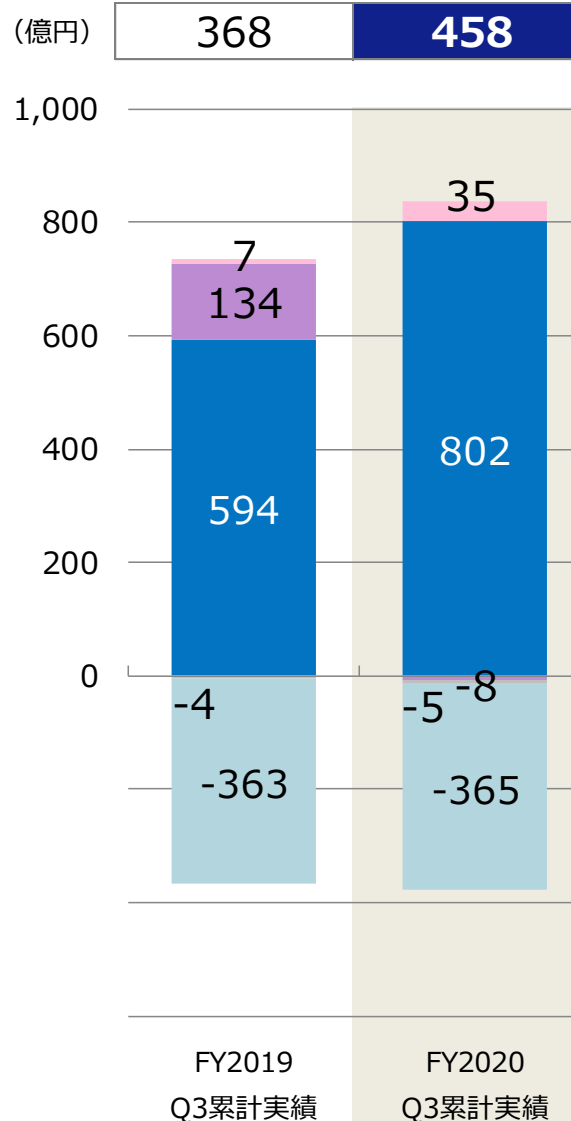
Q3累計売上収益



連結合計

対前年同期 **-780**

Q3累計事業利益



連結合計

対前年同期 **+90**

(億円)

プリンティングソリューションズ	2019年度 Q3累計	2020年度 Q3累計	対 前年同期	為替 影響額
売上収益	5,341	5,069	-272	-124
プリンター	3,620	3,690	+69	
構成比 オフィス・ホームIJP	84%	87%		
SIDM	7%	5%		
その他	9%	8%		
プロフェッショナルプリンティング	1,509	1,264	-245	
構成比 商業・産業IJP	64%	68%		
小型プリンター他	36%	32%		
その他	211	115	-96	
事業間売上収益	-0	-0	-0	
セグメント利益	594	802	+207	-40
セグメント利益率	11.1%	15.8%		

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2019年度 Q3累計	2020年度 Q3累計	対 前年同期	為替 影響額
売上収益	1,457	1,019	-438	-13
セグメント利益	134	-8	-143	+0
セグメント利益率	9.2%	-0.8%		

(億円)

ウェアラブル・産業プロダクツ	2019年度 Q3累計	2020年度 Q3累計	対 前年同期	為替 影響額
売上収益	1,169	1,101	-67	-14
ウェアラブル機器	350	210	-140	
ロボティクスソリューションズ	153	212	+58	
マイクロデバイス他	708	695	-12	
事業間売上収益	-42	-16	+26	
セグメント利益	7	35	+28	-5
セグメント利益率	0.6%	3.2%		

主要製品の販売動向

本資料は、エプソン内部の管理値に基づく指標です。伸長率はYoY

*1 オフィス共有IJP：高プリントボリュームオフィス向けプリンター
I/Cモデル,RIPS,LIJの本体・インク、スマートチャージなどの課金や有償サービスを含む

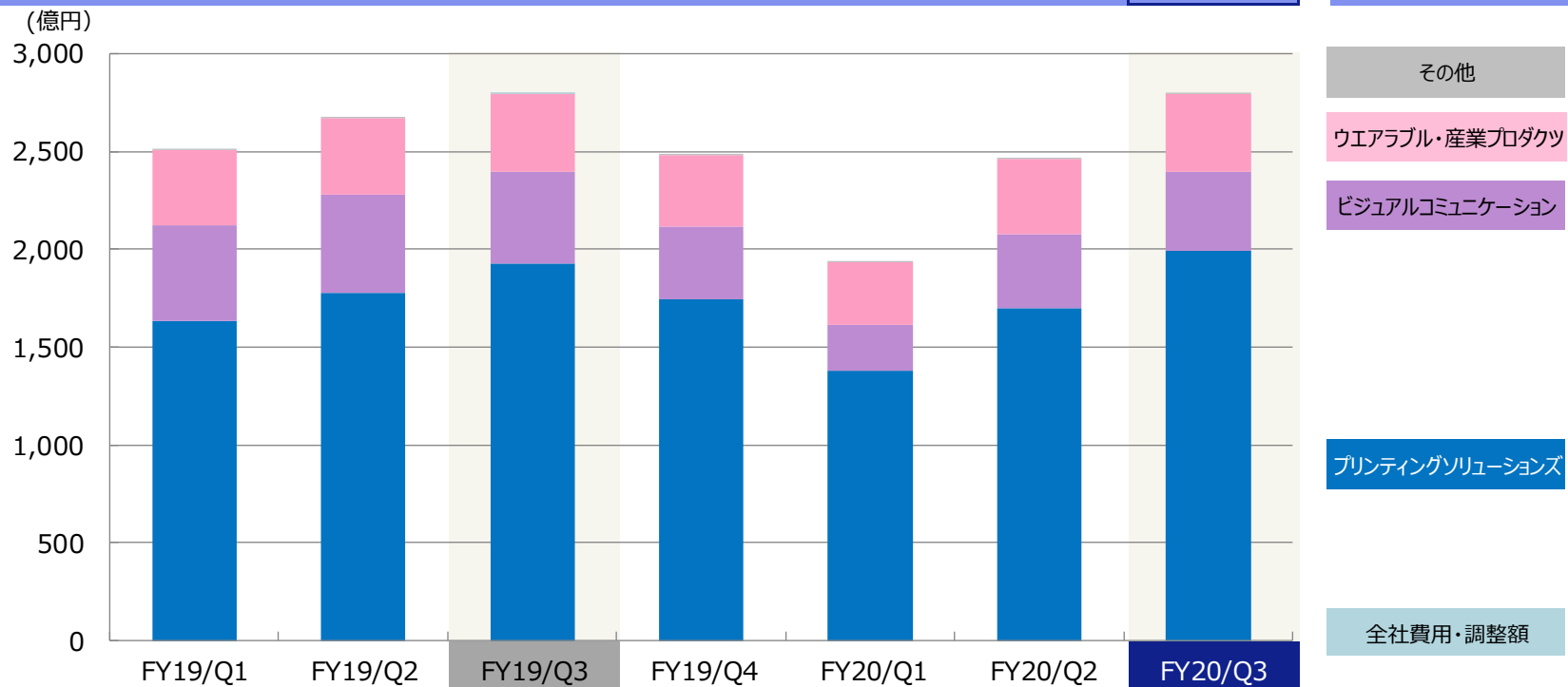
*2 FY20の商品区分変更に伴い、FY19を遡及修正

				FY2019 通期 実績	FY2020 Q1 実績	FY2020 Q2 実績	FY2020 Q3 実績	FY2020 通期 予想
			USD	108.74	107.54	106.16	104.48	105.00
			EUR	120.85	118.39	124.10	124.51	123.00
プリンティング ソリューションズ	オフィス・ホーム IJP 本体	売上収益（円貨）	伸長率	-0%	-14%	+2%	+17%	+10%
		売上収益（現地通貨）	伸長率	+4%	-8%	+5%	+22%	-
		本体数量	伸長率	+1%	-17%	-9%	+2%	-3%
		本体数量	台数	約1,570万台	-	-	-	約1,520万台
		内 大容量インクタンク モデル	台数	約1,000万台	-	-	-	約1,030万台
		内 SOHO・ホーム向け I/Cモデル	台数	約530万台	-	-	-	約460万台
		内 オフィス共有IJP	台数	約40万台	-	-	-	約30万台
	オフィス・ホーム IJP インク	インク売上収益比率 インク÷(本体+インク)	構成比	48%	-	-	-	47%
		売上収益（円貨）	伸長率	-8%	+15%	+7%	+5%	+6%
		売上収益（現地通貨）	伸長率	-5%	+19%	+8%	+6%	-
	オフィス共有 IJP*1 本体+インク	オフィス・ホームIJP内 売上収益比率*2	構成比	10%	9%	10%	9%	10%
SIDM 本体	売上収益（円貨）	伸長率	-19%	-43%	-16%	-19%	-15%	
	売上収益（現地通貨）	伸長率	-16%	-40%	-15%	-18%	-	
	本体数量	伸長率	-16%	-39%	-16%	-22%	-15%	
ビジュアル コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益（円貨）	伸長率	-9%	-52%	-24%	-13%	-25%
		売上収益（現地通貨）	伸長率	-6%	-50%	-24%	-12%	-
		本体数量	伸長率	-9%	-57%	-32%	-20%	-31%
		本体数量	台数	約240万台	-	-	-	約160万台

四半期 売上収益推移 | 事業セグメント別

為替レート (円)	USD	109.93	107.31	108.72	109.00	107.54	106.16	104.48	-4.24
	EUR	123.54	119.34	120.35	120.18	118.39	124.10	124.51	+4.16

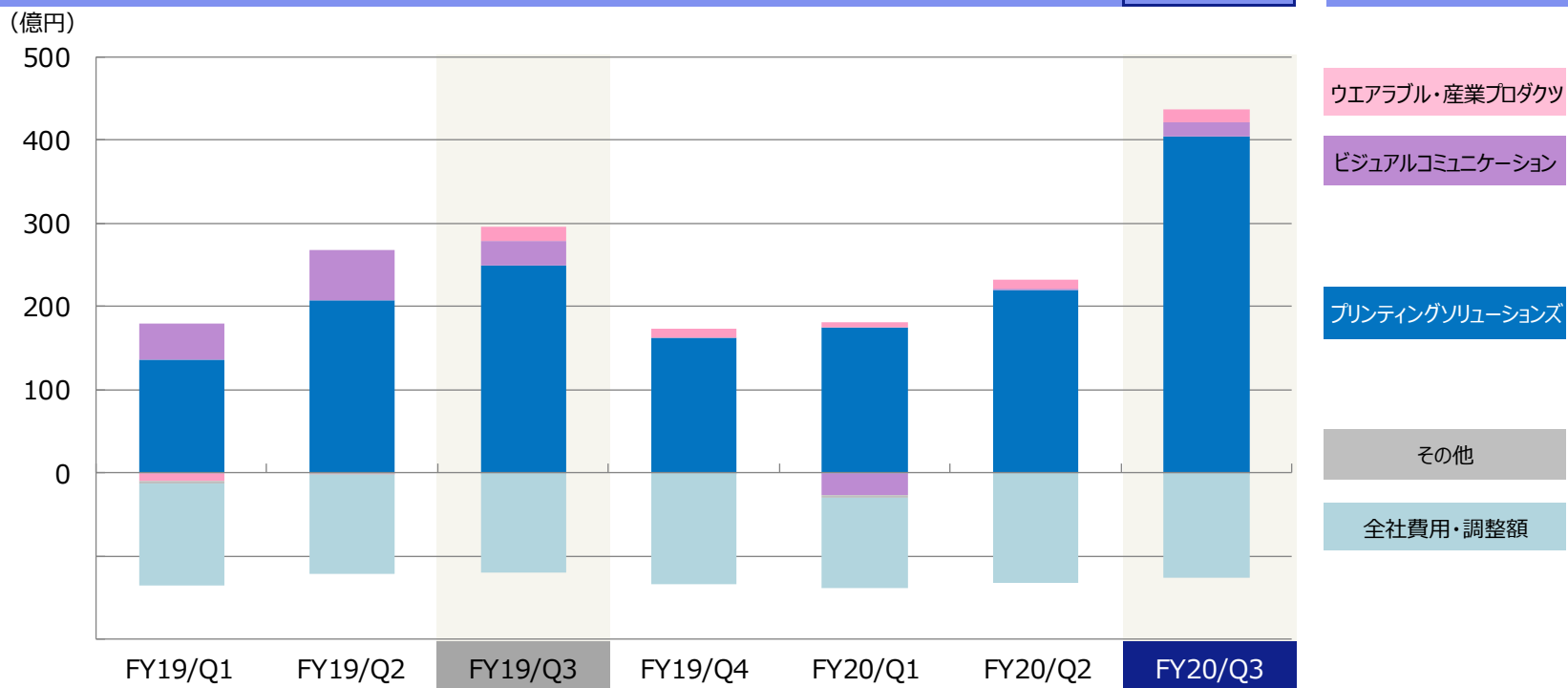
売上収益 (億円)	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	対前年同期
プリンティングソリューションズ	1,632	1,780	1,929	1,744	1,380	1,698	1,990	+61
ビジュアルコミュニケーション	492	496	468	375	235	376	407	-61
ウェアラブル・産業プロダクツ	381	393	394	360	318	388	394	+0
その他	2	2	2	2	1	2	2	-0
全社費用・調整額	-11	-7	3	-6	-3	-6	-6	-10
連結合計	2,496	2,664	2,798	2,476	1,932	2,459	2,788	-10



四半期 事業利益推移 | 事業セグメント別

為替レート (円)	USD	109.93	107.31	108.72	109.00	107.54	106.16	104.48	-4.24
	EUR	123.54	119.34	120.35	120.18	118.39	124.10	124.51	+4.16

事業利益 (億円)	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	対前年同期
プリンティングソリューションズ	136	207	250	162	175	220	405	+154
ビジュアルコミュニケーション	43	61	29	0	-27	1	17	-12
ウェアラブル・産業プロダクツ	-10	-0	17	11	6	12	15	-1
その他	-2	-1	-1	-0	-2	-1	-1	-0
全社費用・調整額	-123	-120	-118	-133	-109	-131	-125	-6
連結合計	45	146	176	40	43	102	311	+135



海外売上収益・従業員数

海外売上収益

為替レート (円)	USD	109.93	107.31	108.72	109.00	107.54	106.16	104.48	-4.24
	EUR	123.54	119.34	120.35	120.18	118.39	124.10	124.51	+4.16

売上収益 (億円)	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	対前年同期
米州	745	717	712	753	598	719	733	+21
欧州	479	537	593	529	397	500	587	-6
アジア・オセアニア	725	758	744	585	495	739	797	+53
海外売上収益計	1,951	2,014	2,051	1,869	1,490	1,959	2,119	+68
連結合計	2,496	2,664	2,798	2,476	1,932	2,459	2,788	-10

構成比	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3
米州	29.9%	26.9%	25.5%	30.4%	31.0%	29.3%	26.3%
欧州	19.2%	20.2%	21.2%	21.4%	20.6%	20.4%	21.1%
アジア・オセアニア	29.1%	28.5%	26.6%	23.7%	25.6%	30.1%	28.6%
海外売上収益計	78.2%	75.6%	73.3%	75.5%	77.2%	79.7%	76.0%

従業員数

期末従業員数 (人)	2018/3末	2018/12末	2019/3末	2019/12末	2020/3末	2020/12末	対前期末
国内	19,436	19,614	19,456	19,789	19,558	19,620	+62
海外	56,955	58,753	57,191	58,052	56,050	62,618	+6,568
連結合計	76,391	78,367	76,647	77,841	75,608	82,238	+6,630

主な業績指標

		(億円)			
	項目	FY2018 実績	FY2019 実績	FY2020 予想	FY2021 第2期 中計目標
為替レート	USD	110.86	108.74	105.00	110.00
(円)	EUR	128.40	120.85	123.00	125.00
プリンティング	売上収益	7,236	7,086	7,000	7,800
ソリューションズ	セグメント利益	945	756	1,000	-
ビジュアル	売上収益	2,033	1,833	1,370	2,250
コミュニケーション	セグメント利益	212	135	-20	-
ウェアラブル・	売上収益	1,634	1,529	1,440	1,950
産業プロダクト	セグメント利益	55	18	30	-
その他	売上収益	9	9	10	-
	セグメント利益	-5	-5	-10	-
全社・調整額	売上収益	-16	-22	-20	-
	セグメント利益	-502	-496	-500	-
連結合計	売上収益	10,896	10,436	9,800	12,000
	事業利益	704	408	500	960
	ROS	6.5%	3.9%	5.1%	8%
	ROE	10.2%	1.5%	3.6%	継続的に 10%以上

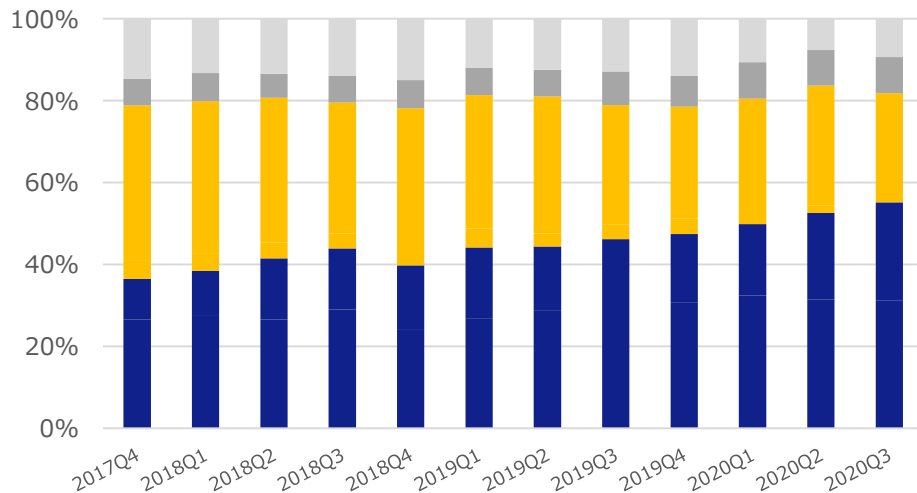
		(億円)			
	項目	FY2018 実績	FY2019 実績	FY2020 予想	Epson 25 第2期3年累計 目標
	USD	110.86	108.74	105.00	110.00
	EUR	128.40	120.85	123.00	125.00
	営業CF	769	1,023	950	3,700程度
	FCF	-57	261	400	1,700程度
	研究開発費	582	492	480	積極的に投下
	設備投資	820	713	480	2,000程度
			800*	570*	

*オペレーティングリース含む

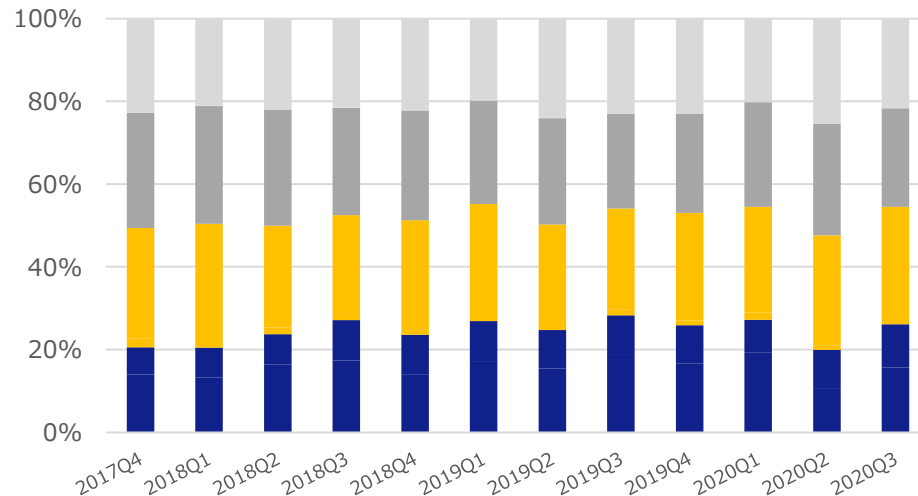
大容量インクタンクモデルの浸透（数量構成比）

A4サイズプリンタータイプ別市場推移（暦年）

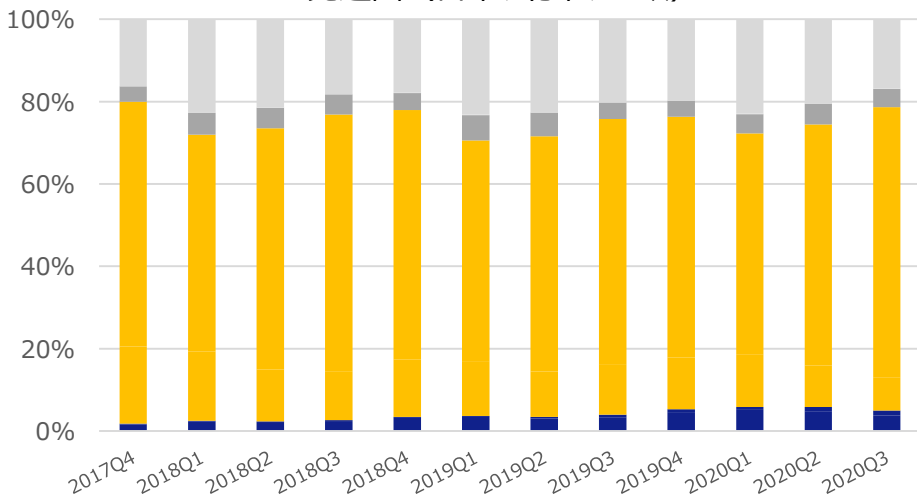
中南米



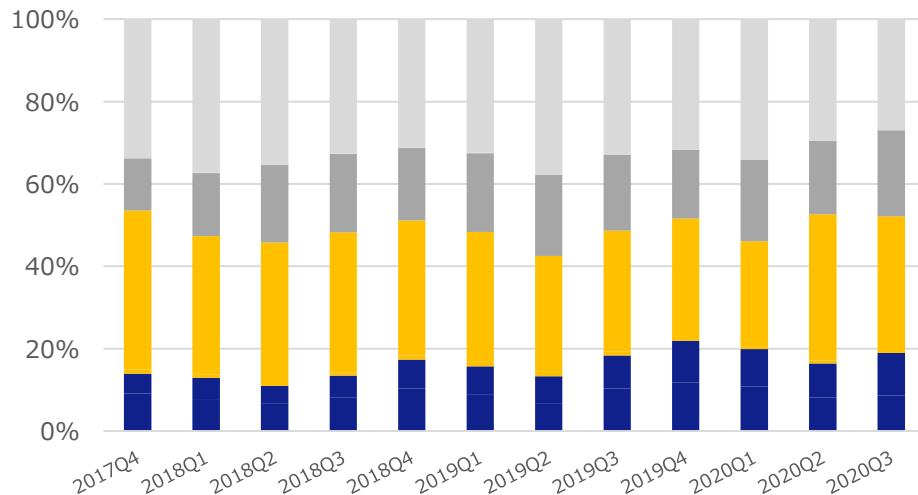
アジア・パシフィック



先進国（日本、北米、西欧）



東欧・中東・アフリカ



■ インクタンクプリンター ■ インクカートリッジプリンター
■ レーザープリンター(1-20ppm) ■ レーザープリンター(21ppm以上)

Source: IDC Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker 2020Q3
プリンターには複合機を含む。本資料からの転載を禁止します

Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
Epson Connect	エプソンの商品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, 高速ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター（複合機含む）
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printers
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有IJP	商品カテゴリの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
フォト	フォト、グラフィックス、プルーフ、CAD印刷向け大判プリンターなどが含まれる
商業・産業IJP	商品カテゴリの1つ。商業・産業用途向け大判インクジェットプリンター、プリントヘッド外販ビジネスを含む
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクカートリッジモデル、大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル（RIPS）、高速ラインインクジェット（LIJ）の総称
分散印刷	同一内容の印刷物を複数のプリンターを用いて印刷する方法
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
OLED	Organic Light Emitting Diode（有機EL）
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
WP	ウェアラブル機器事業
MD他	マイクロデバイス他事業

イノベーション

インクジェットイノベーション

ビジュアルイノベーション

ウェアラブルイノベーション

ロボティクスイノベーション

セグメント

プリンティングソリューションズ

ビジュアルコミュニケーション

ウェアラブル・産業プロダクト

オフィス・ホームIJP

プリンター

大容量インクタンクモデル



オフィス共有



大容量インクパックモデル(RIPS)

SOHO・ホーム



インカートリッジモデル

高速ラインインクジェット複合機 (LIJ)



オフィス向けインカートリッジモデル



SIDM



PaperLab



スキャナー



レーザープリンター

プロフェッショナルプリンティング

商業・産業IJP



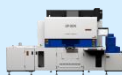
フォト



サインージ



テキスタイル



ラベル



ヘッド外版

小型プリンター他



PC他



エプソンダイレクトPC

事業
・
主要製品

プロジェクター



高光束



超短焦点



スタンダード



ホーム



小型

ライティング



スマートグラス

ウェアラブル機器

エプソンブランド



TRUME



オリेंट

ムーブメント



セイコービジネス



ロボティクスソリューションズ

ロボット



スカラ



6軸

ICハンドラー



オプション



マイクロデバイス他

マイクロデバイス



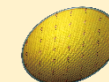
水晶



半導体



微細合金粉末



表面処理加工

EPSON
EXCEED YOUR VISION